

「坑口を開けよう！」 を合言葉に！ 82周年追悼集会（2024.2.3）



「コロナ禍で来日できなかった直系遺族2名を含む7名の遺族を迎えての追悼集会となりました。事故当時、お腹の中におられた遺族も82歳です。今回の来日が最後になるかもしれないとの決意で来られていました。年々亡くなられる遺族が増える中、待ったなしの状況であり、「刻む会」としては、今年中に「坑口を開けたい！」との強い思いをこの追悼集会で発信しました。

（以下、『当日資料』開会挨拶より抜粋）

「コロナのために中止に追い込まれた政府交渉を12月8日に4年ぶりに再開できました。衆議院第一議員会館「国際会議室」という力量をはるかに超えた会場設定でしたが、多くの国会議員や関係者、全国から支援の皆様が駆けつけて下さり、またマスコミフルオープンで開催して大きな反響を呼びました。何より韓国遺族会が初めて、直接国に声を届けた歴史的な日となりました。このご遺族の悲痛な血の叫びを誰が無視できるでしょうか。

厚生労働省「人道調査室」は、年間1000万を超える予算を持ちながら、それは「見える遺骨」

に限ると主張してきましたが、その前提は2005年の日韓両政府の合意にもとづくものとの説明でした。

しかし、昨年3月末に韓国行政安全部遺骸奉還課を「刻む会」が訪問し、長生炭鉱の遺骨発掘を日本政府に働きかけてほしいと働きかけ、韓国政府から日本政府に遺骨発掘の要請があったこと、また、韓国政府が遺族のDNA取得にも動き出したことは、その合意が崩されたことを意味します。

今が最大のチャンスです。その交渉の最後に「人道調査室」は政府を代表して、「今後制限を設けず、刻む会との話し合いに応じます」と回答しました。遺骨発掘に向けたドローン投入や汚濁水の除去等の専門技術者も含め政府との交渉をさらに強化していきます。

事故の日、冷たい海水にのまれながら、坑口めざして必死に走ってこられた犠牲者の皆様に対し、まずは坑口を開けることが道義的責任であり、政府交渉の第一課題です。直系ご遺族には残された時間がない中、「刻む会」は一時も無駄にせず全力を挙げることを約束いたします。

刻む会 たより

NO. 92

2024年3月22日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・佐々木明美

事務局 宇部市常盤町一―一九（宇部緑橋教会内）

カンパ振込先 ゆうちよ銀行 □座番号 01590・7・32405

年会費 《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

メール

https://www.chouseitankou.com

chouseitankou@gmail.com



第1部 追悼式



追悼集会の様子は左記 QR コード読み込みで YouTube 視聴できます

追悼集会の様子



韓国遺族会挨拶
ヤンヒョン
楊玄会長



開会挨拶
井上洋子共同代表

在日本朝鮮人総联合会
山口県本部 常任委員会
委員長 李秀福



大韓民国行政安全部
過去史関連業務支援団長
挨拶代読 宮本輝男



韓国民団山口県本部
ソハッキョ
団長 徐鶴奎



駐広島大韓民国総領事
挨拶代読 バクデソ
朴大成



来賓挨拶

岸田総理大臣及び厚生労働省人道調査室にも挨拶依頼を送りましたが、今年も返信すらありませんでした。また、山口県知事及び宇部市長にも同様に挨拶依頼をし、ご挨拶はいただけませんでしたが、以下の方々に来賓としてご参加いただき、花束を届けていただきました。

山口県観光スポーツ文化国際課長・松田恭明、宇部市（観光交流課課長・上田優作、地域福祉課課長・牧田晶生）（※どちらも第1部のみ参加）（敬称略）

また、社民党・大橋ゆうこ参議院議員は第2部にて挨拶をいただき、共産党・宮本徹衆議院議員及び沖縄の風・高良鉄美参議院議員よりよりメッセージが届き、会場に貼りだしました。



昨年に引き続き、日韓青少年交流で来日した韓国の中学生と日本の中学生も参加し、若者アピールを述べ、献花の時には、この中学生たちが犠牲者の名前の朗読をしてくれました。

感謝の盾贈呈式



昨年9月亡くなられた島徹史顧問へ韓国遺族会から感謝の盾の贈呈がありました

本日は大事な追悼集会で、亡き夫、島徹史（ひろみ）のためにこのような場を設けていただき、光栄に存じます。島もあの世できっと喜んでいることと思います。ほとんど発足当時から「水非常の会」に関わらせていただいたことは、島の人生にとって大きな意味を持っていったように思われます。会の活動にかかわっていた間に出会った韓国の方々との交流は、島にとってのみでなく、私の人生も豊かにしてくれました。

その上、小学生のころから父親に連れられて、時々追悼会や交流会に参加していた娘は、いつの間にか韓国に興味を持ち、成人してから出会った大邱出身の男性 No.Kap Hyoun と結婚するまでにいたりしました。「水非常の会」は彼らの縁結びだったと思ってお

ります。とても良い青年で、私たちは No.Kap Hyoun は神様の贈り物と言っております。

このお写真の李さんは、娘をとてもかわいがってくださっていましたので、結婚式の時には京都から宇部まで、わざわざ来てくださって、そのまま大邱での結婚式にもついて行ってくださり、通訳の役目をはたしてくださいました。ここにおられる楊玄会長さん、孫鳳秀さん、また今日おみえになってないご遺族の2名の方々は、2人の大邱での結婚式に、島の家族としてご出席くださり、一つのテーブルを囲みました。

このことは会の活動の表には出ないエピソードですが、会の皆様のご熱心な活動の陰には、ロマンスもあつたということ、を、ぜひ皆様にお知らせしたく、お話し上げました。

「刻む会」、韓国遺族会の皆様の末永いご健康とますますのご活躍を祈念いたし、ご挨拶の言葉とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。



バクムンメン 犠牲者・朴猛文さん
バクジョンイル の息子・朴正一さん

追悼式開始前にご遺族で西光寺を訪問され、位牌と対面されました。その後、海岸でも祈りを捧げられました。

遠方よりご参加いただいた北海道の殿平善彦さん、広島吉川徹忍さん、両任職がどちらの場でも読経をしてくださいました。



第 2 部の様子は右 QR コード読み込みで YouTube 配信をご視聴いただけます。当日の配信（特に講演会の部分）に不具合がありましたことをご詫言します。改めて、別途配信しておりますので、こちらをご覧ください。



第 2 部

遺族会からの発言

○韓国遺族会通訳・堤美貴さん

直系ご遺族として今回来日された朴正一（パクジョンイル）さんや申載鳳（シンジェボン）さんの気持ちを代弁して思いを述べられました。



○犠牲者・申龍業
息子の妻・辛榮基さんの発言

○孫鳳秀事務局長発言（抜粋）

12.8 意見交換会は、「刻む会」の成果と努力には敬意を表するが、政府の姿勢は残念。目に見えた成果がない。だが、これを出発点として、遺骨発掘が実現できるよう協力して欲しい。



【犠牲者・申龍業 息子・申載鳳さん】

コロナ禍の中で脳梗塞等の病気を患い体が不自由な中、今回最後と思って来日されました。追悼集会当日の朝高熱により救急搬送され、入院することとなり、追悼集会に参加できませんでした。幸い、翌日には退院され、1日遅れで韓国へ帰国することができました。

帰国する前に、ピーヤの海岸を訪問。取材に来ていた KRY の記者のインタビューに「今も寒い海の中だから早く出していただいて故郷に帰ってゆっくりと休めるようにしてあげたいです。もちろん最初は敵の国だった。父をつかまえて死なせた敵の国、いつも恨んでいた。でも全く関係のない日本人が集まって私たち（の遺骨返還）を手伝ってくれている。日本人に抱いていた悪い考えは全て消えました。ただありがたいという気持ちでいっぱいです。いつの日か恩返しをしたいです。」と話してくださいました。



※KRY ニュースライブ特集 2/13 特集（犠牲者は今も海の底）、2/14 特集（韓国からの遺族）の 2 夜放送され、申載鳳(シンジェボン)さんのインタビューは 2/14 に放映された映像にありました。

来賓挨拶

大橋ゆうこ参議院議員



殿平善彦さん
(北海道一乗寺住職)

「刻む会」からの報告



上田慶司さん(右)
12.8 政府との意見交換会及びそれに向けての取り組みの報告



井上洋子共同代表(左)
韓国で開催された 1 月 15~19 日(月~木)写真展及び 1 月 16 日(火)長生炭鉱韓日遺骸発掘及び奉還のための国会討論会の報告

安田浩一さん講演会



当日の配信で、安田さんの講演会の部分が配信出来ておらず、大変申し訳ありませんでした。改めて、配信しておりますのでぜひご視聴ください。



「歴史否定の波に抗うー差別と偏見の現場を取材して」と題した講演会でした。ちょうど、追悼集会が開催される数日前、群馬の森の追悼碑が群馬県によって強制的に撤去されるという事態が起こりました。その問題を始め、今、全国で起こっている歴史を消そうとする動き、ヘイトの問題など、長生炭鉱の問題とも絡めながら話をしてくださいました。群馬の森の追悼碑問題は、全国にある朝鮮人追悼碑をなくそうという輩の攻撃の第一歩であり、安田さんも言われていました。彼らに成功体験とさせてはいけない、絶対に許してはいけないことなのです。長生炭鉱の追悼碑には「強制連行」の文字が入っていますが、それは歴史の事実です。史実に向き合わずして、犠牲になった人々の痛みや苦しみは消すことはできません。

その他 いろいろ



第2部会場では、パネル展示もあり、内岡貞雄顧問が休憩時間を利用して説明をしました。



今年のチェサのお供え物は下関のオモ二達が協力して準備してくださいました。



BIYP 日韓青少年交流で参加した子ども達がメッセージを木札に書いて追悼ひろばに供えてくれました。

第2部では来日した犠牲者遺族の思いを聞いて、その後、別会場で日本の子ども達は韓国の子供達との交流を深めました。



●その他、ご挨拶はいただきませんでした。以下の方々にも来賓としてご参加いただきました。(敬称略)
 山口県議会議員(河合喜代、木佐木大介(※第1部のみ)、藤本一規、中嶋光雄)、宇部市議(浅田徹、五十嵐仁美、時田洋輔(※第1部のみ)、三好保雄(※第2部のみ))、部落解放同盟山口県連合会(執行委員長・松本卓也、川口泰司)、元衆議院議員・大平喜信、在日大韓基督教会小倉教会牧師・朱文洪、その他、民団、総聯それぞれより多数ご参加いただいています。

また、今回は報道関係の方々の方が参加が多数ありました。名刺をいただいた数 17 枚。新聞やインターネットをはじめ様々な場所で報道をしていただきました。

特に翌日の2/4には、安田浩一さんのインタビューで制作された **NoHateTV「坑口を開けろ! ~長生炭鉱水没事故から82年」** が後日2/7に放映されました。このYouTube配信ををご覧になりたい方は左記QRコードを読み込んでご視聴下さい。



1月15～19日(月～木) 写真展(国会議員会館 2階)
1月15日(月) 14時～ オープン式

共同主催

共に民主党国会議員: ユン・ホジュン ウ・ウォンシク キム・ソンジュ キム・ドクガン ソン・オクジュ パク・ジュミン
ユン・ヨンドク キム・ホンゴル チェ・ハヨン
ユン・ミハン カン・ジュンヒョン

国民の力国会議員: ジュ・ホヨン

長生炭鉱犠牲者大韓民国遺族会、長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会、韓日関係歴史会

後援 韓日歴史平和定義行動、(社) チョンテイルと友達、大邱環境運動連合



韓国で写真展と討論会開催

写真展



1月15日のオープン式に井上洋子共同代表が参加。多くのご遺族たちが集まってくださいました。今回来日してくれた日韓青少年交流の中学生も駆けつけてくれました。



オープン式では、孫鳳秀事務局長が司会、遺骸奉還課の課長の発言も。



今回の写真展を企画した写真家のイジェカップさん(左) 今回の写真展には「刻む会」からも写真を提供しました。

1月16日(火) 16～17時 (国会議員会館第9懇談会室)
長生炭鉱韓日遺骸発掘及び奉還のための国会討論会

共同主催

共に民主党国会議員: ウ・ウォンシク キム・ソンジュ パク・ジュミン
ユン・ヨンドク キム・ホンゴル ユン・ミハン カン・ジュンヒョン
チェ・ハヨン ヤン・ジョンスク

長生炭鉱犠牲者大韓民国遺族会、長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会、韓日関係歴史会

後援 (社) チョンテイルと友達、大邱環境運動連合



討論会



今回 BIYP 日韓青少年交流に参加した日本の子ども達とその保護者の方の感想文をご紹介します

※追悼集会関連の部分のみ部抜粋

私は集会に参加して初めて長生炭鉱でたくさんの方が亡くなったことを知りました。ろうそくを並べたり亡くなった人の名前を読んだり、実際に参加することができました。犠牲者には若い人もたくさんいて家族に会いたかったでしょう、したいこともたくさんあったでしょうと思いました。家族が炭鉱で亡くなった遺族の話を開き、早く発掘して家族と面会して欲しいと思いました。もっとたくさんの方が関心をもつべきだと思いました。

私は初めて日韓交流に参加して「長生炭鉱水没事故」を知りました。長生炭鉱水没事故は、私が参加したのが82周年なので今から82年前の1942年に発生した事故です。犠牲者は奴隷のように扱われ、日本、韓国、朝鮮計183人の方が現在も冷たい海の中に置かれているという大変残酷な事件です。こんな事故が日本で起きているにもかかわらず日本政府は何もしませんでした。遺族の方たちの元に一刻も早く遺骨がもどれるように日本政府はちゃんと取り合ってほしいと思いました。

3日床波の海岸で韓国の仲間達と長生炭鉱の事故にあった183人のろうそくを並べた。

ろうそくの1つ1つに故人の名前が刻まれていた。ろうそくを並べていてこんなにも多くの方が事故の犠牲になったのかと改めて感じた。遺族が高齢化していく中、早く家族のもとへ帰ることができると思いなと思った。家族にとってこの事故はまだ解決していないのだと思った。遺骨が家族の元に戻るまでは、、、

今回、長生炭鉱水没事故を親子共に初めて知りました。遺骨を遺族に返還しようと多くの方が活動されている事を知り、娘と「自分の身近な人から事故を伝えていけるといいね」と話しました。

私もボランティアとして長生炭鉱の追悼集会のろうそくなどの準備などに関わられた事に感謝しています。

そしてこの追悼集会で日韓の中学生たちが同じ想いで同じ未来に向かって希望を持っていると感動しました。

子ども達の交流の様子



追悼集会に関する会計報告

【支出の部】

| 科 目 | | 備考 |
|----------|---------|--------|
| 会場費 | 206,540 | 一部、二部 |
| 事務費 | 23,690 | 当日資料他 |
| オンライン費 | 4,004 | |
| 講師謝礼交通費 | 80,000 | |
| 遺族宿泊費 | 97,435 | |
| 遺族交通費補助 | 220,000 | 渡日費用 |
| その他交通宿泊費 | 44,660 | 特別支援者他 |
| 遺族昼食代 | 8,176 | |
| 遺族前日夕食代 | 51,760 | |
| 現地交通費 | 85,166 | レンタカー他 |
| 懇親会 | 45,832 | 遺族・講師分 |
| 遺族土産代 | 7,128 | |
| 供物 | 14,444 | |
| 献花 | 22,500 | |
| 広報費 | 10,762 | |
| 雑費 | 2,256 | |
| 合 計 | 924,353 | |

※なお、「遺族」には遺族通訳者を含みます。

当日いただいたカンパにつきましては、P11の「刻む会」会計の一般会計・寄付金をご参照ください。

フィールドワーク報告

1923 記憶する行動の皆さんが、昨年に引き続き、今年もツアーを企画してくださいました。

昨年も参加された方がリピーターとして参加して下さったのをはじめ、マスコミ関係の方々もツアーに参加してくださいました。



1923記憶する行動 ツアー企画 第4弾

長生炭鉱水没事故 82周年 犠牲者追悼集会と 位牌のある西光寺へ

あなたは、海に沈んだ炭鉱 長生炭鉱をご存知ですか？

2.26~2.40
2.30~2.40

井上洋子さん
2月2日 集会・長生炭鉱跡のフィールドワーク 11:00
2月3日 ツアー・長生炭鉱跡のフィールドワーク 11:00
2月4日 犠牲者の追悼がある西光寺へ 11:00

お問い合わせ 長生炭鉱跡のフィールドワーク 03-5842-6380 kantou1923@gmail.com

1923 記憶する行動
2月2日(金)



立命館大学・景井ゼミ
2月15日(木)



昨年来てくださった景井先生が、ゼミ合宿に組み入れて企画し、ゼミの学生を連れて来てくださいました。



映画監督・中村真夕さん
2月24日(土)



突然の訪問依頼。中村真夕さんは次回作の映画の取材で熊本に行った帰りに立ち寄られました。
今回の映画の題材は『徘徊タクシー』という認知症のおばあさんが主人公の小説だそうで、小説の主人公の曾祖父が沖の山炭鉱の労働組合の委員長であったという記述があり、その関連で長生炭鉱に興味を持たれたとのことでした。
案内の最後、ピーヤの海岸で「おばあさんがここで遺体を探しているシーンとかどうでしょう：」と言われていたので、もしかしたら、長生炭鉱のピーヤが映画に登場するかも？



3月1日(金)
美術家・宋明樺さん

こちらにも突然の訪問依頼。九州の実家に帰省途中に立ち寄られました。
宋明樺さんは、12・8の政府交渉にも参加して下さったとのこと。現地を見てみたいと思いい、来ていただきました。





草の根交流 切手まつり



今年も2月17～18日（土～日）に、防府・アスピラートで開催の「切手まつり」にパネル展示をして参加しました。この「切手まつり」は JOCS 日本キリスト海外医療協力会の使用済み切手を集める企画の援助で始まったものですが、補助がなくなった後も、実行委員会の形で、草の根交流をしながら継続しています。



朝鮮学校を支援する山口県ネットワークからも内岡貞雄顧問がパネルを作成し、展示をしました。

活動日誌 (前回たより以降)

太字は記事掲載

- 12/25 (月) 毎日新聞栗原記者取材
- 12/28 (木) KRY事前取材
- 1/4 (木) 『刻む会たより No. 91』 発送作業

- 1/10 (水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 1/11 (木) 西岐波地区追悼集会案内チラシ配布・KRY取材
- 1/13 (土) 床波組会長面談、山田健一さん面談(北九州市・小倉)

- 1/15 (月) 長生炭鉱写真展(韓国)
- 1/16 (火) 長生炭鉱韓日遺骸発掘及び奉還のための国会討論会(韓国)
- 1/18 (木) 第10回運営委員会(途中まで)
- 1/20 (土) 真相究明ネットワーク事務局会議(神戸市)

- 1/21 (日) 新春の集い(山口市)
- 1/22 (月) 第10回運営委員会(続き)
- 1/23 (火) 共同通信社取材(山口市)
- 1/24 (水) 中国新聞取材
- 1/31 (水) 共同通信社記者が定例記者会見にて林官房長官に長生炭鉱の事を質問

- 2/1 (木) 追悼集会前日準備
- 2/2 (金) 1923記憶する行動FW(K)

RY他取材含む

韓国遺族会来日

- 2/3 (土) 82周年犠牲者追悼集会
- 2/4 (日) 韓国遺族会帰国、ノーハイトTV取材

- 2/5 (月) 申鳳載夫妻帰国
- 2/13 (火) 第11回運営委員会
- 2/14 (水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する行動月間行動参加(下関市)
- 2/15 (木) 景井ゼミFW
- 2/17 (土) 草の根交流切手まつり
- 2/23 (金) 大阪ケーブダイビング打ち合わせ(ZOOM)
- 2/24 (土) 映画監督・中村真夕さんFW

- 2/25 (日) 山口朝鮮初中級学校文芸発表会
- 2/27 (火) 長周新聞取材
- 3/1 (金) 美術家・宋明樺さんFW
- 3/7 (木) 内山弁護士との相談会(ZOOM)
- 3/8 (金) 藤本一規山口県議会議員による長生炭鉱問題一般質問
- 3/9 (土) 韓国遺族会総会
- 3/13 (水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)

- OM 真相究明ネットワーク事務局会議(ZOOM)

会計報告 (2023/12/1~2024/2/29)

【一般会計】

| | 科目 | 年度予算 | 期間実績 | 累計 | 達成率 | 備考 |
|---|----------|-----------|---------|-----------|--------|----------|
| | 歳入 | | | | | |
| 1 | 会費 | 580,000 | 83,000 | 339,240 | 58.5% | |
| 2 | 寄付金 | 850,000 | 577,996 | 955,296 | 112.4% | ※ |
| 3 | 物販 | 33,000 | 53,530 | 88,230 | 267.4% | |
| | 証言・資料集 | 30,000 | 40,790 | 71,490 | 238.3% | |
| | その他 | 3,000 | 12,740 | 16,740 | 558.0% | FWハンドブック |
| 4 | 雑収入 | 4,000 | 0 | 3,740 | 93.5% | |
| 5 | 前期繰越金 | 100,000 | 0 | 0 | 0.0% | |
| 6 | 特別会計より繰入 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合計 | 1,567,000 | 714,526 | 1,386,506 | 88.5% | |

| | | | | | | |
|---|--------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 歳出 | | | | | |
| 1 | 事務費 | 40,000 | 13,452 | 35,620 | 89.1% | |
| 2 | 広報費 | 350,000 | 73,486 | 204,962 | 58.6% | 会報誌送料・印刷他 |
| 3 | 会議費 | 72,000 | 0 | 12,080 | 16.8% | 交通費補助 |
| 4 | 追悼碑管理費 | 12,000 | 1,136 | 4,825 | 40.2% | 電気代 |
| 5 | 活動費 | 930,000 | 169,139 | 283,231 | 30.5% | |
| | 学習会等 | 100,000 | 63,070 | 100,340 | 100.3% | 証言資料集4増刷 |
| | 追悼集会 | 600,000 | 0 | 0 | 0.0% | |
| | その他活動 | 230,000 | 106,069 | 182,891 | 79.5% | 韓国写真展他 |
| 6 | 他団体会費等 | 40,000 | 3,000 | 38,000 | 95.0% | うべネットワーク |
| 7 | 雑支出 | 6,200 | 2,661 | 40,858 | 659.0% | |
| | 手数料 | 6,000 | 2,661 | 5,208 | 86.8% | 郵便局 |
| | その他 | 200 | 0 | 35,650 | 17825.0% | |
| 8 | 予備費 | 116,800 | | | | |
| | 小計 | 1,567,000 | 262,874 | 619,576 | 39.5% | |
| 9 | 繰越金 | 0 | 451,652 | 766,930 | | |
| | 合計 | 1,567,000 | 714,526 | 1,386,506 | 88.5% | |

※寄付者(敬称略)

麻野 他郎 新井 朋行 李 和 蓮 生田 健 石井 邦子 岩本 乾治 岩本多賀子 内山 新吾
 吳 世 憲 小田 恵子 落合紀久子 景井 充 姜 泰 玉 杵 洙 智子 小林 晃 齊藤美代子
 坂 貞子 篠田 壮志 柴田 正彦 島 幸子 島村眞知子 下野 駿一 新城せつこ 関 美佐子
 関口智恵子 関谷 和子 徐 根 植 高橋知可子 竹尾 久男 崔 玉 任 寺尾 光身 都 裕 史
 中島千枝子 長塚 淑江 西山壽万子 野口 道彦 野崎 律子 萩 ルイ子 朴 正 鎬 橋本 和正
 原 須美子 平賀工リ衛 平田 賢一 福島 咲 福田 恵一 福田富美子 藤井 晃暢 文 夏 子
 松井恵美子 松岡 節子 松村 節夫 間部 芳枝 山内 弘恵 鐘光 洋子
 在日大韓基督教会小倉教会 在日大韓基督教会西南地方会社会部 在日本朝鮮人総連合会山口県本部
 在日本大韓国民団 山口県宇部支部 在日本大韓国民団 山口県地方本部
 在日本朝鮮人総連合会 宇部小野田支部 日本基督教団小郡教会 日本基督教団下関西教会
 日本基督教団廿日市教会 日本基督教団防府教会
 広島安野中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会 無窮花堂友好親善の会
 その他匿名16件

【追悼碑特別会計】

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----|---------|----|-------|---------|----|
| 科目 | 金額 | 備考 | 科目 | 金額 | 備考 |
| 繰越金 | 745,901 | | 見取図更新 | 22,000 | |
| | | | 繰越金 | 745,901 | |
| 合計 | 745,901 | | 合計 | 767,901 | |

【遺骨収集等特別会計】

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|-----------|----|--------|-----------|----|
| 科目 | 金額 | 備考 | 科目 | 金額 | 備考 |
| 繰越金 | 1,100,886 | | 12.8行動 | 208,488 | |
| 12.8行動カンパ | 101,171 | ※※ | 繰越金 | 993,569 | |
| 合計 | 1,202,057 | | 合計 | 1,202,057 | 合計 |

※※寄附者(敬称略)

上里 恵子 景井 充 金 静 媛 鋤野 保雄 小林 知子 須原 志保 中島千枝子
 中野 克俊 永野 三重 浜口 勝彦 平間 博貴 松元 一也 保田 千世
 全国母親大会 政府交渉参加者有志

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

「刻む会」発刊 証言資料集 全4冊

値上げのお知らせ

これまで1冊300円で販売してきましたが、資材高騰につき、4月から1冊400円に値上げさせていただきます。

ご了承ください。

なお、価格は変わりますが、セット販売もあります。(4冊セット1500円)

まだお持ちでない方！
ぜひお買い求め下さい！



フィールドワーク
ハンドブック
1冊 200円

日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書

各種取り扱っています

ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

第11回定期総会開催のお知らせ

2024年6月15日(土) 14:00~16:30

今回は役員改選期になります。

一緒に運営委員として活動してくれる方、募集中！

遠方でも会議はzoomで参加できます。

なお、正会員の皆様には5月末に議案書を発送する予定です。

郵便事情でお届けが遅くなる可能性があります、ご容赦ください。

届きましたら速やかに出欠のご連絡をお願いします。

欠席の場合は委任状の提出をお願いします。

ハガキ返信の場合は総会に間に合うようご配慮をお願いします。

賛助会員等の皆様で陪席希望の方は事務局までご連絡ください。

今後の予定

| | | |
|---------------|-------------|-----------------|
| 2024年3月13日(水) | 19:00~ | 真相究明ネットワーク事務局会議 |
| 3月28日(木) | 13:00~15:00 | 韓国・観音宗追悼集会 |
| 4月8日(月) | 10:30~13:00 | 第1回運営委員会 |
| 5月10日(金) | 10:30~13:00 | 第2回運営委員会 |
| 6月15日(土) | 14:00~16:30 | 第11回定期総会 |

事務局より 会員動静 (2024年3月8日現在)

| | |
|------|---------------|
| 正会員 | 127名 (前月比+1名) |
| 賛助会員 | 269名 (前月比+3名) |
| 寄付者 | 125名 (前月比+2名) |
| 計 | 521名 (前月比+6名) |

会員・寄付者募集中！知人・友人にぜひ一声お願いします！

《同封物》 振替用紙

